

## 保護者からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名 にじの広場今井

記録者 岩見由美



保護者等数(児童数) 21 回収数 15 割合 71%

記録日 令和 元年 12月 20日

		チェック項目	評価				ご意見
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11	3			・公園やリラックス館など上手く利用してもらいありがとうございます。 ・先生達が子ども達を良く見れる広さなので安心できます。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	12	1		1	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境※ i になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	11	3			・子ども達の苦手な物があると出来るだけ外している。色々考えて頂いているのでありがたいです。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	11	2		1	・玄関から廊下部分を土足で入ることもあるので少し気になった。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画※ ii が作成されているか	14				・家庭・園・にじ、それぞれ気になることを聞いてくれ作成して頂いている。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	11	2		1	
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	11			3	
	8	活動プログラム※ iii が固定化しないよう工夫されているか	12	2			・今年度に入ってから外出や公園遊び等、毎日活動に変化が多くなったと思う。子どもも満足しているようです。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	3	2	5	・小さいうちから色々な子と交流があってもいいのかなと思います。日本はまだ分けられている印象がある。
保 護 者	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13	1			
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	14				
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング※ iv 等)が行われているか	5	3		6	・プログラムの事はわかりませんが、日々の送迎で色々話を聞いてもらっています。 ・プログラムではないですが、日々気になった事1つ1つについて先生方からアドバイスを頂き参考にしています。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	13	1			・1日の様子を帰りに伝えられない時もあるのでもう少し様子を聞きたい。 ・発見があったり、上手な対処法をみつけられる。

護者への説明等	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12			2	・プログラムの事はわかりませんが、日々の送迎で色々話を聞いてもらっています。 ・どうしようもない時ほど助言に助けられている。	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		2	4	8	・特にはないですが、私自身は先生と話せるので気にしたことはありません。	
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	14					・突発的な相談事も聞いていただけ、とても安心できます。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13	1				
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	14					・月1回発行のひろば通信ではいつも見ることがない子どもの様子があり、子どもとの話題ができありがたいです。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	12	2				
	非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	10	2		2	
21		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	1		2	・登園の日数が子ども達で様々ですので可能でしたら訓練weekのようにしてその週は1日1回何かしらの訓練があると子どもたちもより訓れるのではないかと思います。	
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	12	2			・「にじさんはいつ？」と聞いてくる事があり楽しみにしております。 ・気分にもうがあるのですが、殆どは楽しみにしています。子どもが安心して通える場であることは嬉しいことです。	
	23	事業所の支援に満足しているか	14				・細かい変化などを教えてくれている。 ・こちらの施設で出会えた先生方は息子にとっても母にとっても大きな存在です。とてもいい場所に出会えたと思っています。 ・子どもや親の悩みも受け止めて頂きこれからも頑張れるという思いにしています。	

※ i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

※ ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

※ iii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※ iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

.....

(保護者の皆様へ)

○この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。